

# くよみ通信

No. 21 2020/08/01

## 中山街道を探索・第二回 枯木橋く羽黒神社 (松山・記)

7月2日、枯木橋から北山へ向かい歩くが、道路脇に「馬頭観音碑」が数基纏められていた。旧街道の碑が纏められたのだと思われる。

北山駅へ向かう。仙山線北山駅の「根白石踏切」と言う名称は、JRが旧街道の名前を残して付けたらしい。

「根白石踏切」がある坂は踏切を越えて北山霊園の出口まで続く、結構きつく長い。「念仏坂」と言う名前が判る感じだ。更に歩き「北山霊園」出口手



↑旧街道にあった石碑が集められていた。  
←羽黒神社の裏には円墳があった。

↓羽黒神社の看板。



↓根白石街道の名残り



↑緊急時のために保存されている井戸

前であろうやく平坦な道で一息。ここに「井戸」があり「災害緊急用」に指定されている。

「北山羽黒神社」には石段があり、湯殿山月山神社、愛宕神社、竹駒神社が合祀されていた。

## 「珀杜の会」からの寄稿です (鈴木代表・記)

会員はみな、我が子が受験し仙台青陵に入学したことで青陵の森を知った。そして学校林として活用されていない現状を知り、全校生徒に知ってもらおう！そして地域交流憩いの

↓珀杜の会の、樹名板制作風景



↑樹名板取付作業

場になってほしい！と奮起した有志で、ボランティア活動を始めたのが珀杜ほくとである。学校生活の一部で生徒に使用を奨励するにはまずは安全確保が最優先と考えた。そのため危険な松枯れの採伐や倒木処理作業から始め、草刈りやゴミ拾いはルーチンワーク。強風の度に倒木が現れ、7月末の豪雨で倒れた木は過剰な水分で根腐れをしていた。

朽ちる木もあれば、こぼれ種から発芽もある。森の生命力と向き合いながら作業を進め、そして汗だくになって広場に戻った時の休憩がたまらなく贅沢な時間だ。鳥の囀りを聞きながらそよ風が気持ちいい。松を見上げるとトビが優雅に飛んでいる。

森では毎回発見がある。珍しい野草を見つけたり、生命力を感じたり。野草に詳しい「くよみ郷土研究会」の方々からご教授頂くととても楽しい。

## 樹名板取付が完了 56枚の自己アピール

7月30日、「くよみの会」の23枚が取り付けられました。珀杜の会の33枚と合わせて56枚が、樹木の幹にお目見え。

樹木にとっては、自己紹介をしているようなもの。改めて出会いを楽しみたいものです。

(7月16日の予定だったが雨で、急遽、今後の活動についてミーティングした)

## 2020年8・9月の活動予定

### 8/6(木)

#### 「青陵の森・整備活動」

- ◆エントランス付近を整備します
- 集合 10:00 青陵中等教育学校
- 会員のみ参加

### 8/20(木)

#### 「青陵の森・整備活動」

- ◆各自の観察対象の植物を決定
- 集合 10:00 青陵中等教育学校
- 会員のみ参加

### 9/3(木)

#### 「芋澤街道を極める」

- ◆貝ヶ森市民センター～
- 集合 10:00 貝ヶ森市民センター
- 会員のみ参加

「市民センターだより」に記事が掲載されました。

